



# 郷土の アートを 楽しむ空間。

## 宮島お砂焼歴史展

宮島お砂焼歴史展が、11月26日から12月3日まで、はつかいち市民大野図書館で開催されました。廿日市市文化協会大野支部の主催により、おおの文化祭60周年記念事業として行われた歴史展。宮島歴史民俗資料館や、3つの窯元、越智陶芸さんの協力のほか、地域の方が所蔵されている貴重な品も展示されました。

展示方法も工夫され、郷土のアートであるお砂焼の歴史を学べる貴重な機会となりました。



### 対巖焼二重の塔

1960年ころ 山根重助作  
置物として作られた陶器製の二重の塔。上層部が円形であることから作者が修行した京都の塔をイメージしたと思われる。



### 小貝の磯煮用壺

大正ころ 川原富次郎作  
土産として人気のあった「小貝（アサリ）の磯煮」を小さな容器に詰め分ける前に入れておいた壺。

## 地域文化に誇りを持ち、このまちを愛することにつながっていけばと願っています。

廿日市市を住みやすく、誇りの持てるまちにするためには、観光による活性化は重要な手段の一つだと考えます。そのためには、地域にある文化や産物、技能などを活用して、新しい産物やサービスを創造し、日本のみならず、世界中の人々にとって魅力あるまちにする必要があります。

毎年「お砂焼まつり」が盛大に行われているのを見ても、「お砂焼」の名が地域の人た

ちに定着し、地域の応援団として存在していることが伺えます。そして、この「お砂焼まつり」をきっかけにして、さまざまなアクションにつながることを期待されます。また、大切なことは、「お砂焼」と同じように広く発信できる産物やサービスをこの地に創り出すことです。

何より、地域の文化に誇りを持ち、まちを愛することにつながっていけばと願っています。



廿日市市文化協会大野支部  
きもと・いずみ  
木本 泉さん

**編集後記**  
新年あけましておめでとございます。今年も「広報はつかいち」をよろしく願っています。さて、今年は辰年ですね。8月にオープンしたみやじマリンでは、タツノオトシゴを見ることができます。また、1月1日（祝）から31日（火）まで、「辰」をテーマにした干支展が行われます。ゆっくりと動くタツノオトシゴ。独特の雰囲気を持っていて、見るだけで癒されます。オープン以来、大好評のみやじマリン。10月には、カワウソの赤ちゃんが産まれ、新たなアイドルとなっています。みやじマリンでは、干支展のほか、季節に応じた特別イベントなども随時行っているそうです。さあ、新しい一年の始まりです。今年一年が、皆さんにとって素敵な年になりますように。

川辺

## 目の不自由な人のために

- 「広報はつかいち」のカセットテープ、デジタイズ図書、点訳本があります。
- 問合せ 廿日市市社会福祉協議会 ☎0294
- 音声読み上げのための「広報はつかいち」のテキスト版をホームページに掲載しています。
- 問合せ 総合政策課 広報統計係 ☎09121

**広報はつかいち** 発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号 ☎0829@0001代・FAX0829@1059  
編集 分権政策部 総合政策課 広報統計係  
ホームページアドレス <http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/>

●市政ラジオ放送 FMはつかいち 76.1MHz  
月～金曜日 7:35～7:50 13:00～13:15 18:00～18:15 土曜日 9:00～9:15

◆人口と世帯数 12月1日現在 ( )は前月比  
人口：118,269人（-45人） 男性：56,721人（-11人） 女性：61,548人（-34人） 世帯数：48,855世帯（+39世帯）